

平成29年度

事業報告書

一般財団法人

東京都高等学校野球連盟

## 1 事業の内容

### (1) 高等学校野球の普及、振興、指導および監督

①年度内に予定していた理事会は計画通り6回を実施し、ほぼ理事会実施前に常務理事会を開催。更に、各部会を開き、審議・検討を行い、健全な高校野球育成を発展に努めた。

②責任教師・監督会議にて、野球要項を再度熟読し、中学生の体験入部の取扱いを確認した。また、中体連とも連携を取り、開会式での始球式も実施した。

③毎年の最重要課題であるフェアプレーの徹底を指導した。具体的には、加盟校の指導者、並びに部員の偵察行為を全面的に禁止した。(ビデオ撮影など)不正があった場合は、責任教師に厳しく指導した。また、バックネット裏付近での試合観戦も合わせて禁止した。学校関係者より申請があった場合撮影許可のリボンを貸与した。ほぼ周知徹底はできつつあるが、次年度も継続的にフェアプレーの精神を伝えたい。

④不祥事件の根絶に向け、責任教師・監督会議の席上で、加盟校への指導を行ってきた。結果は、本年度は51件(日本高野連28件、東京都高野連止まり23件)の不祥事件があり、根気よく加盟校への危機管理の認識を伝達しなければならない。不祥事件に関しては、減少傾向にあるが、根気強く、体罰のない健全な指導を今一度、周知徹底する必要がある。

⑤ホームページは、コンテンツの充実を図り、現在では定着している速報システムなどにより、スピード感を持って情報を提供した。また、様々な連盟関連の連絡事項がホームページより確認する傾向にあり、ユーザーのニーズに合ったサービスを提供できているように感じる。

⑥責任教師会議においては、5校を除く269校が参加。様々な懸案事項を詳細に説明し、理解を求めた。特に本年度は選手権100回大会に向けての記念事業についての報告を行った。

(1) 不祥事件の根絶に向けて指導した。特にいじめや指導者の体罰に関しては重点的に説明した。高校野球の理念を今一度再認識させるとともに健全な野球部の運営・管理を指示した。

(2) 部員登録の締切りの期日を守らない加盟校は減少傾向にあるが、まだまだあり根気強く継続的に理解を求めたい。

(3) 第100回全国高等学校野球選手権記念大会に向けて

—東京高野連としての記念事業の説明—

2018年は選手権大会が100回の記念大会となり(公財)日本高等学校野球連盟より各都道府県に記念事業の取り組みを求められている旨を説明した。本連盟が企画している7つの項目についてのガイドラインは

①海外遠征計画 ②加盟校への記念品贈呈 ③100回記念講演—荒木大輔氏—

④指導者研修会講演集の刊行 ⑤スコアブックの電子化

⑥白球譜第7集の刊行 ⑦100回大会記念、連盟70周年記念式典である。

2018年は、スピード感をもって各事業の遂行にあたり、各事業が恙なく執り行えるように努めたい。

⑦本年度は現慶應義塾大学硬式野球部監督、アトランタオリンピック日本代表、近鉄バファローズ、湘南シーレックスコーチ、新日本石油 ENEOS の監督として3度都市対抗野球大会で優勝に導かれた 大久保秀昭 氏をお迎えして、高校野球指導者にメッセージを頂いた。現在はアマチュア野球に携わる傍ら、ご自身もプロ野球の世界も経験し、野球界の様々な問題やこれからの現場の指導者として必要な思考力など多岐にわたるものであった。明解な語り口と説得力のある発言が聴衆を魅了し、大盛況であった。

⑧加盟校が270を超え、審判員の確保には本年度も非常に苦労した。若い世代の審判員の育成が急務である。本年度も春季大会一次予選において、学生審判の導入を実施。しかし、加盟校からは、公式戦の場において一回の講習を受講したものが試合にジャッジをすることに疑問もあり、今年度も受講生が試合にてジャッジすることは控えた。しかし、この学生時代に審判講習会を経験し、将来的に審判員を目指す契機になることを期待している。登録審判員も各大会の度に、審判講習会を実施し、技術の向上に努めた。残念ながらいくつかのミスジャッジもあり、さらなる技術向上と的確な判断力のある人材育成が必要だと実感している。連盟としても、審判員の増員に向け、推薦書の依頼を加盟校に呼びかけた。今後審判部と連携を密にして対策を検討したい。

⑨一般財団法人化に伴い、還元事業として、加盟校へは秋季大会抽選時に背番号を配布。更に秋季大会一次予選時に昨年より2ダース増やし硬式試合球5ダースを加盟校に配球した。

## (2) 高等学校野球大会ならびに試合の開催及び協力

### ①平成29年度春季東京都高等学校野球大会

一次予選は、24の会場に分かれ、182チーム（連合チームがあるため）が参加。3月18日（土）～24日（金）で実施。48の代表校が、4月1日（土）からの本大会に出場。本大会は4月1日（土）～14日間。決勝は27日（木）で、112校が神宮第二球場を含め10球場を使用し、開催。優勝校は早稲田大学系属早稲田実業学校（35年ぶり9回目）。準優勝は日本大学第三高等学校。

※春季大会決勝は4月27日（木）18時より東京都高野連では初めてナイターでの開催となった。理由は、早稲田実業の清宮選手、日大三の櫻井選手、金成選手という全国屈指の人気選手がおり、この一戦を見ようと多くの観衆が球場に押し寄せることが予想され、集客の観点からも神宮球場でないと安全上、管理できないためにナイターでの開催となった。（昼の時間は他連盟の試合）結果は予想通り25,000人の観衆が集まり、満員札止め寸前の大盛況であった。しかし、問題点を浮き彫りとなった。試合は激しい打撃戦で延長12回に及ぶ大熱戦になり試合時間が4時間を超え、試合終了時間が22時を過ぎた。

テレビ中継を見ている視聴者からは、学生野球としての適切な時間を踏まえて運営するべきであるというような厳しい意見も多数寄せられ、当連盟は、今後ナイターを伴う試合開催のルールを設定した。

○18時30分以降の試合はできない。

○21時を超えて新しいイニングに入らない。

当連盟としては、基本的には、ナイター開催は考えていないが、各大会で第四試合がこの条件に適應する可能性がある。加盟校とも密に連絡を取り、応援生徒の健康管理を含めて、学生野球として適切な時間の設定には留意したい。

### ②第99回全国高等学校野球選手権大会東西東京大会

朝日新聞東京本社と共催で、7月8日（土）から30（日）までの23日間、神宮球場をはじめとする、東西13の球場を使用し開催。東東京大会は、二松學舎大学附属高等学校（3年ぶり2回目）が優勝。西東京大会は、東海大学菅生高等学校（17年ぶり3回目）が優勝。両校が東西東京代表として甲子園出場の権利を得た。

※今年度の事業計画にはなかったが、99回選手権大会の準決勝・決勝より、プレイガイド（チケットぴあ）によるチケット前売りを実施した。理由は、ここ数年、高校野球の人気拡大により、多くの観衆が球場に詰めかけている。特に、準決勝・決勝になると20,000人前後のお客様が早朝よりチケットを求めて長蛇の列をつくっている。明治神宮外苑、警備会社、管轄警察、消防とも協議し、安全上の問題を最優先に考え、10,000枚の前売りを行った。結果として、お客様には十分な周知はできていない状況下でも、完売した日を含めて、7割強のチケットが売れた。オンラインでのチケット販売には様々な問題点もあり、現にチケットの違法な転売行為も垣間見られ、対策を施す必要性を感じた。しかしながら、安全の側面からは、球場で問題になっていた狭い場所での列が解消され、余裕のある警備体制を整えることができた。様々な問題はあるものの、全国で初めての導入で検討の余地はあるが、今後の積極的に推進していく事業となった。

### ③平成29年度秋季東京都高等学校野球大会

一次予選は24の会場に分かれ、249チーム（連合チームがあるため）が参加。9月9日（土）～9月24日（日）で実施。64の代表校が10月7日（土）からの本大会に出場。本大会は10月7日（土）から12日間。決勝は11月5日（日）で、64校が神宮・神宮第二球場を含め8球場を使用し開催。

なお、本年度は一昨年同様に東都大学野球連盟と同日開催を実施。リーグ戦最終日の11月4日（土）に準決勝を10時～、12時30分～、一部二部入替戦の11月5日（日）に決勝を12時より神宮球場で行った。【両日とも大学野球は16時より】また、準決勝・決勝においては、選手権大会同様、前売りによるチケットの販売も実施した。

優勝校は日本大学第三高等学校（7年ぶり13回目）。準優勝は佼成学園高等学校。

### （3）高等学校野球の調査・研究

平成29年度の指導者研修会講師は現慶應義塾大学硬式野球部監督、アトランタオリンピック日本代表、近鉄バファローズ、湘南シーレックスコーチ、新日本石油 ENEOS の監督として3度都市対抗野球大会で優勝に導かれた 大久保秀昭 監督をお招きして講演をいただいた。学生野球の真の在り方や高校野球を通じた人間教育、アマチュア野球界が目指す指導像など多岐にわたる充実した内容で加盟校指導者は深い感銘を受け、自校の今後の指導に大いに参考となる内容で実りある講演会であった。

### （4）高等学校野球選手、部員などのスポーツ障害予防・健康増進

本年度も医師の導入を行った。選手権大会の準決勝から日本大学医学部附属病院整形外科洞口先生をはじめ、慈恵医科大学附属病院の田中先生と厚木市立病院の敦賀先生にもお力添えを得て、試合中の熱中症、頭部打撲、その他のアクシデントを予測して球場でのサポートをお願いし、救急対応の危機管理を実践した。結果的に医師の診断を仰ぐ事故はなかった。また、選手権大会は準々決勝より、春季大会・秋季大会は準決勝より理学療法士を球場内に常駐させ、選手のケアを行った。選手権大会には準決勝より、理学療法士の他に看護師もお願いし、選手のみならず応援生徒の熱中症対策を行った。生命に関わるような大きな事故もなく、選手の投球禁止などの適応者もなかった。選手・応援生徒の健康管理体制に関しては、引き続き学校と密に連絡をとり安全を第一に対応したい。また、センバツ・選手権に出場する代表校の肘・肩検査は、（公財）日本高等学校野球連盟が指定する病院で検査を行うことになった。東京都の検査指定病院は、帝京大学医学部附属病院整形外科、スポーツ医科学センターで今後も継続的に行われる模様である。

### （5）高等学校野球に関する講習会・研究会の開催

学生審判の講習会を2月19日（日）に実施した。会場校の24校から2名の学生審判を参加させ、基本となるジャッジの講習を開催した。基本的に自校での経験がある参加者が複数いたため、思っていたより高いレベルでの講習内容となった。次年度以降も継続的な取り組みを行いたい。

東京の登録審判員の講習会は3月5日（日）、6月18日（日）、9月3日（日）の3回を実施。審判員の技術向上のために積極的な参加があった。

記録員・アナウンス研修会は、6月24日（土）に実施。朝日新聞社の協力も得て、加盟校の代表校に丁寧に指導した。アナウンス研修は現役のアナウンサーが実技も踏まえて指導し、実践的な放送技術指導を行い、とても実のあるものとなった。指導者研修会は、現慶應義塾大学硬式野球部 大久保 秀昭 監督をお招きして、様々な経験にまつわる貴重な講演をいただいた。

(6) 野球を通じた国際交流、国際相互理解の推進

本年度は国際交流試合はなし。U18ワールドカップにおいて東京都加盟校より関東第一高等学校の米澤貴光監督が全日本コーチとして招聘された。また U18 代表選手として早稲田実業学校 清宮幸太郎（3年）内野手 日本大学第三高等学校 櫻井周斗（3年）投手 同校 井上大成（3年）内野手の3名が選出された。大会では銅メダルの成績を収め、世界の舞台で大活躍した。また、当連盟では11月5日（日）に明治記念館において4名の活躍と功績を讃え、表彰を行った。来るべく100回大会の準備として、100回大会事業準備委員会を数回実施した。来年の国際試合の計画を具体的に進める時期に入り、キューバ共和国大使館、外務省とも密接な連携を取り順調に進めている。現地視察も12月に行い、現地の安全面や衛生面など様々な関連機関へのあいさつも無事に終えた。高校世代としては、初めての中南米遠征となるので、万全の体制にてさらなる準備を丁寧に行いたい。

(7) 高等学校野球に関する関係諸団体との協力・提携

東京都中体連、関東地区高野連、全国九地区高野連、並びに日本高野連とは密接な関係を持ちながら、各行事を遂行した。関東地区高野連とは、様々な意見交換を交わし、有意義な情報交換ができた。また、東京都中体連とも継続的な連携を維持して選手権大会の始球式も中学生に経験してもらっている。円滑な関係を保ちつつ諸団体と建設的な意見を交わし、さらなる関係構築に努めたい。

(8) その他この法人の目的達成に必要な事項

一般財団法人化に伴い、公認会計士指導の元、様々な規則の充実を図った。今後も適宜必要な事項への検討を行う。

硬式 274校 部員数約11,000名  
 軟式 73校 部員数約1,600名

## 硬式部

### 諸会議の状況

1、加盟校責任教師会議	5月27日(土)	1回
1、常務理事会	2月7日(火)、5月8日(月)、12月5日(火)、	3回
1、理事会	2月17日(金)、4月23日(日)、5月10日(水) 8月21日(月)、11月5日(日)、12月15日(金)	6回
1、選手権運営委員会	5月30日(火)、6月1日(木)	2回
1、選手権委員会	6月13日(火)、7月6日(木)	2回
1、抽選会	2月26日(日)、6月17日(土)、8月26日(土)、 10月2日(月)	4回
1、球場主任会議	2月17日(金)、6月13日(火)、9月26日(火)	3回
1、審判講習会	2月19日(日)、3月5日(日)、6月18日(日)、 9月3日(日)	4回
1、審判幹事会	3月2日(木)、6月14日(水)、8月30日(水)	3回
1、審判意見交換会	4月22日(土)	
1、評議員会	2月27日(月)	1回
1、監査	2月3日(金)	1回
1、記録員アナウンス研修会	6月24日(土)	1回
1、審判割当会	6月24日(土)、8月30日(水)	2回
1、審判員ブロック大会中間報告会	10月4日(水)	1回
1、指導者研修会	12月2日(土)	
	慶應義塾大学 大久保 秀昭 監督	1回
1、一次予選会場校責任者会議	2月20日(月)、8月24日(木)	2回
1、100回大会記念事業委員会	2月28日(火)、4月9日(日)	2回
1、白球譜編集委員会	1月13日(金)、7月24日(月)	2回
1、役員指名委員会	11月28日(火)	1回

軟式部

諸会議の状況

1、総会	4月2日(日)	1回
1、理事会	1月7日(土)、2月12日(日)、4月2日(日)、 5月3日(水)、6月11日(日)、7月31日(月)、 9月18日(月)	7回
1、審判講習会	3月20日(月)	1回
1、記録講習会	2月12日(日)	1回
1、指導者講習会	2月21日(日)	

本連盟主催大会

春季大会

支部予選：3月下旬  
都大会：4月9日(日)、16日(日)、23日(月)、  
5月3日(水)、

夏季大会

7月17日(月)～31日(月)

秋季大会

支部予選：8月下旬  
都大会：9月3日(日)、10日(日)、17日(日)、  
24日(日)